

復活節第7主日

主日家庭礼拝順序

頌 栄 28

交読詩編 詩編65:1~5

讃美歌 287

聖書 使徒言行録1章6~11節

説教 「キリストの昇天」

祈り

使徒信条 93-4A

讃美歌 405

主の祈り 93-5A

■家庭礼拝の守り方

時間になりましたら、静かに心を整えて黙祷し、礼拝順序に合わせて礼拝を守りましょう。同じ時に、主にある兄弟姉妹と共に礼拝している事を思いながら礼拝を捧げましょう。

頌栄 最初に神様に栄光を帰します。

交読詩編 神からの呼びかけと人の応答を思い読んでください。

讃美歌 神を讃美します。

聖書 神の御言葉を読みます。

説教 御言葉の解き明かし。神様は私に何を語りかけて下さるのかを思いながら読み、しばらく黙想しましょう。

祈り 御言葉を心に留め、主に祈ります。

使徒信条 信仰を告白します。

讃美歌 御言葉への応答・感謝の讃美です。

主の祈り イエス・キリストの教えて下さった祈りで終わります。

◆説教「キリストの昇天」

主イエスは復活されてから多くの弟子たちに現れて、ご自身が復活されたことを示され、神の国の事を話されました。そして40日の後、天に帰られました。その時に、父なる神が約束なさった通りに「あなたがたは間もなく聖霊による洗礼を授けられる」と言われました。神の国の宣教に携わる者に必要な神からの力であり祝福であった聖霊の降臨の約束を弟子たちにされたのです。しかし、弟子たちにはその意味が分からず、「主よ、イスラエルのために国を建て直してくださいるのは、この時ですか」と尋ねました。「父の約束されたもの」ユダヤ人たちにとってそれは救いの約束でした。その救いとは、イスラエルの国が独立して自由になることであって、それが父なる神が約束され、主イエスがいつも教えて下さっていた神の国の実現だと思っていました。彼らはまだ、この世的な世界の救いしか思い描けなかったのです。それに対して主イエスは、「父が御自分の権威をもってお定めになった時や時期は、あなたがたの知るところではない。」と言われました。私たちも、神の御心を待つ姿勢よりも、自分の都合と自分で弟子たちの様に神に聞いてはいないでしょうか。それに対して主イエスは、神の時を信じて待つことの大切さを教えて下さいました。

そして、「あなたがたの上に聖霊が降ると、あなたがたは力を受ける。そして、エルサレムばかりでなく、ユダヤとサマリアの全土で、また、地の果てに至るまで、わたしの証人となる。」と言われました。復活の主が天に帰られたのは、私たちに聖霊を与えるためでした。

た。その聖霊こそ、「前にわたしから聞いた、父の約束されたもの」なのでした。

「こう話し終わると、イエスは彼らが見ているうちに天に上げられたが、雲に覆われて彼らの目から見えなくなった。」この時の「雲」というのは、神の栄光の象徴です。主イエス・キリストの昇天は、私たちに、聖霊が与えられること、そして、その聖霊の導きによって福音を伝えるキリストの証人となること、主イエス・キリストが私たちと共におられることを教えているのです。また、キリストの昇天は、再臨の予告でもあります。

神は天地万物を創造されました。そして、この世界の歴史は神のご意志とご計画により導かれています。その歴史はキリストの再臨によって完成します。しかし、その時がいつであるのかは、神のみが知っておられます。私たちはただ、その日その時を希望と忍耐を持って待ちつつ、来るべき日に向かってキリストの証人として生きるようにと求められているのです。

◆祈り

栄光の座におられる主よ、私たちをキリストの証人として遣わしてください。新型コロナウイルスが一日も早く終息するように。この脅威の中で神の憐れみを求めて、引き続きキリエ・エレイソン(主よ、憐れみ給え)と祈りましょう。

■教会

□主日礼拝 5月31日(日)10:30 ペンテコステ礼拝 教会での礼拝を再開します。

□教会学校 4月19日~5月31日まで新型コロナウイルス感染防止のため休校

■ランバス幼稚園

4月14日(火)~5月31日(日)家庭保育要請期間